



創造的な街づくりを推進する世界各地の港町との文化交流プロジェクト〈ポート・ジャーニー・プロジェクト〉

EXHIBITION

ポート・ジャーニー・プロジェクト ^{カオシュン}高雄 ⇄ 横浜

リウ・チーホン「Monochrome」展

会期：2019年9月14日（土）～10月3日（木）10:00 - 18:00

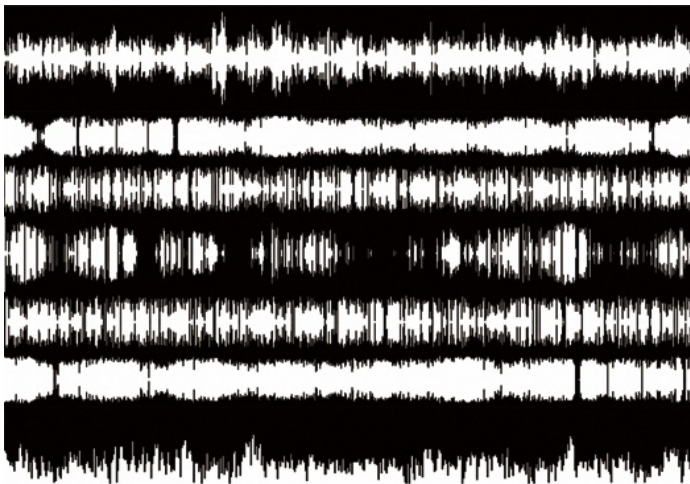
会場：象の鼻テラス 入場無料

台湾のアーティストが聴いた横浜

—滞在を通して集めた横浜の小さなものがたりを作品とし展示

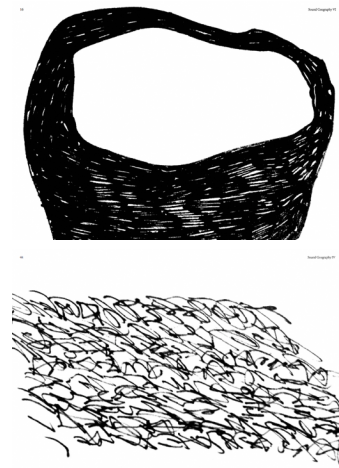
象の鼻テラスでは、2019年9月14日（土）～10月3日（木）の期間、〈ポート・ジャーニー・プロジェクト〉*の一環として、台湾出身のアーティスト リウ・チーホン（Liu Chih-Hung）を招聘し、「Monochrome」展を行います。

今回のプロジェクトパートナーは台湾南部の中心都市「高雄」^{高雄}の駁二芸術特区（The Pier-2 Art Center）。駁二芸術特区は古くから交易で栄えてきた港町の旧倉庫街をリノベーションした複合アートスペースです。象の鼻テラスとは2017年に交流を開始し、今年6月に横浜出身のアーティスト 山本アンディ彩果を派遣しました。この施設からの推薦でリウ・チーホンが来日、8月下旬から横浜に滞在しリサーチと作品制作を行います。



Sound Geography : Yokohama

本展での制作に向けて作家が描いたイメージ案



参考作品

上：Sound Geography VI : Sydney, 2016-17年

下：Sound Geography IV : Davao & Kota Kinabalu, 2015年

リウ・チーホンは、私たちが普段何を聞いているのかを表面化させ、その音と情景を強く結びつける作品を多く発表しています。その中でも、作家の代表的なプロジェクトである〈Sound Geography〉シリーズでは、ローカルなヒト・モノ・コトに起因するエピソードやサウンドを集め、その“音”をドローイングやテキスト、立体作品といった“ビジュアル”に変換。最終的に本としてまとめています。このシリーズは既に10都市6カ国をまわり、それぞれの地域文化の手ざわりをデータベース化しています。今回、横浜では8月末から滞在。偶然の出会いを大切にしながら音の収集や住民へのインタビューなど積極的にリサーチを行い、象の鼻テラス内で作品を制作、発表します。日本からほど近い異国からの、アーティストの視点で捉えられた横浜には、普段私たちが当たり前に過ごしている日常への再発見があるでしょう。

この機会にぜひ、取材・掲載のご検討をお願いいたします。

* 〈ポート・ジャーニー・プロジェクト〉は、クリエイティブな街づくりを推進する世界各地の港町との文化交流を通じて、都市間のサステナブルな関係構築を目指すプロジェクトとして、2011年から活動しています。

取材に関するお問い合わせ

象の鼻テラス 秋山 E-mail : press@zounohana.com

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目

TEL 045-661-0602 FAX 045-661-0603 WEB <http://www.zounohana.com>



プロフィール



リウ・チーホン (Liu Chih-Hung)

1985年、新竹市(台湾)生まれ。国立台北芸術大学美術学部 M.F.A プログラムを卒業。現在、台北在住のアーティストです。近年のアートプロジェクトは、彼の生き方に対するまなざしや、極めて個人的な経験に基づいて展開しています。一般的な視点から解釈し物語ることによって、感情とイメージを密接に結びつけています。画像、既製品、調査レポート、印刷物を取り入れたマルチメディア作品は、日常にありふれた材料を使うことや、形式的な言語への気付き、また、ローカルなつながりを持つことに関した問題へ取り組もうとしています。

関連イベント

レセプションパーティ&アーティストトーク〈スナックゾウノハナ〉

日時：9月19日(木) 18:00- 入場無料

「Monochrome」展のレセプションは、アーティストがホストを務めるスナック形式のイベント〈スナックゾウノハナ〉とのコラボレーション。どなたでもお気軽にご参加ください。会場では本展のアーティスト リウ・チーホンのトークを行います。

その他、9月28日(土)には6月に高雄でのレジデンスを終えた山本アンディ彩果によるアーティストトークや、リウ・チーホンによるワークショップを開催予定。同日 19:00 からは、「〈スナックゾウノハナ〉アジアのあつい夜」と題して、アジア地域に拠点に活動を行うアーティストたちを招き、交流できる場をつくれます。

詳細は、象の鼻テラスホームページ (<http://www.zounohana.com>) にて随時更新します。

開催概要

ポート・ジャーニー・プロジェクト 高雄⇄横浜 リウ・チーホン「Monochrome」展

会期：2019年9月14日(土)～10月3日(木) 10:00 - 18:00 入場無料

*開館時間は都合により変更する場合がございます。

会場：象の鼻テラス 〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目

TEL 045-661-0602 WEB <http://www.zounohana.com>

主催：象の鼻テラス | 協力：^{ほく}二芸術特区 (The Pier-2 Art Center) | 企画制作：スパイラル/株式会社ワコールアートセンター



ポート・ジャーニー・プロジェクトについて



クリエイティブな街づくりを推進する世界各地の港町と文化交流を図り、象の鼻テラスと、各都市で独自の活動を行う文化施設が持続可能な関係構築を目指す国際的なプロジェクトです。2011年に横浜とメルボルン(オーストラリア)の交流からスタートし、以降、ネットワークを徐々に拡大し、年に一度のディレクター会議(毎年ホスト都市を変えて実施)や2ヶ月に一回のオンライン会議も行いながら、交流する2都市間や、アーティストのみにとどまらない広い意味での文化交流のかたちを探っています。

現在までの参加都市(ディレクター会議の単回参加も含む)：横浜(日本)、メルボルン(オーストラリア)、サンディエゴ(アメリカ)、ハンブルク(ドイツ)、上海(中国)、フローニンゲン(オランダ)、バーゼル(スイス)、ナント(フランス)、レイキャビク(アイスランド)、アンマン(ヨルダン)、高雄(台湾)、ヘルシンキ(フィンランド)、光州(韓国)など。

*PORT JOURNEYS オフィシャルページ <http://www.portjourneys.org>

象の鼻テラスについて



Photo: Katsuhiro Ichikawa

象の鼻テラスは、横浜市開港150周年事業として、2009年6月2日に開館しました。横浜港発祥の地を、横浜の歴史と未来をつなぐ象徴的な空間として整備した象の鼻パーク内に、アートのスペースを兼ね備えたレストハウス(休憩所)として、横浜市の新たな都市ビジョン「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する文化観光交流拠点の一つです。開港当時から異文化と日本文化がこの土地で出会ってきたように、さまざまな人や文化が出会い、つながり、新たな文化を生む場所を目指し、多ジャンルのアートプログラムを開催しています。象の鼻テラスは横浜市文化観光局の委託により、スパイラル/株式会社ワコールアートセンターが運営しています。